

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2019年11月23日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙 ※日下部キャスターは香港から中継		
検証テーマ：GSOMIA 失効回避、オープニング、日韓外相会談、香港の選挙、両陛下が伊勢神宮参拝 ローマ教皇来日へ、【特集】問題山積～大学入試共通テスト 【特集】混迷の香港～デモと選挙の行方は		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・GSOMIA 失効回避</li> <li>・オープニング</li> <li>・大阪で不明の小6 女児を無事保護</li> <li>・日韓外相会談</li> <li>・香港の選挙</li> <li>・両陛下が伊勢神宮参拝</li> <li>・ローマ教皇来日へ</li> <li>・安藤ハザマが除染事業などで裏金捻出</li> <li>・【特集】</li> <li>・【特集】</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・行方不明の小6 女児が発見される</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・GSOMIA 失効回避：結論→特に問題なし</li> </ul> GSOMIA について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。 <p style="color: red;">"曾根英介（報告）「GSOMIA の執行回避を受け、賛成派と反対派が集会を開いています、韓国市民の受け止めは様々です。」</p> <p style="color: red;">反対派「（失効回避を）糾弾する！糾弾する！糾弾する！」</p> <p style="color: red;">曾根英介「午後一時、韓国大統領府前では GSOMIA の破棄を求める市民が国民を無視した決定だと抗議の声を上げました。」</p> <p style="color: red;">破棄派「怒りを感じています、条件付きではなく完全に破棄すべきです。」</p> <p style="color: red;">曾根英介「一方、ソウル中心部の大通りでは GSOMIA の維持を主張する市民の集会が開かれました。」</p> <p style="color: red;">維持派「日本を好きだろうが嫌いだろうが韓米同盟と韓米日の関係は重要だ。」 "</p> <p style="color: red;">ナレ「GSOMIA の失効が濃厚と見られていた中で韓国政府が失効回避にかじを切った背景には、GSOMIA 維持を求めて強い圧力をかけてきたアメリカとの関係悪化に対する懸念がありました。加えて日本による輸出管理の強化がただでさえ不振にあえぐ韓国経済に一定の打撃を与えていたことから韓国政府は一旦は決定した GSOMIA の破棄を取り下げたほうがいいという意見もありました。しかし一度振り上げた拳を理由なく下ろせば支持率の低下につながりかねず、韓国政府には名分が必要でした、そこで失効間近になって日本側が受け入れ可能な案を提示、失効回避に至ったものと見られます。韓国の外交関係者は関係改善につなげたい、折角のチャンスなので日韓両政府が努力すべきだと前向きな考えを示しました。」</p>		

曾根英介「ただ、輸出管理問題や徴用工問題をめぐる今後の交渉は難航が予想され日韓関係はなお予断を許さない状況です。」

このトピックに当てられた時間は 122 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・オープニング：結論→特に問題なし

番組のオープニングで金平キャスターが「桜を見る会の政府側の説明が二転三転しています、政治家の招待枠がなかったと言ったのは、あった。安倍首相に至っては 1000 人もいた。政治家の招待名簿はシュレッダーに廃棄されていました。嘘をついてはいけない、大事なものは捨ててはいけません。当たり前を為政者たちが率先して破って子どもたちにどう説明するのでしょうか。」と述べていた。このシーンに当てられた時間は 23 秒だった。放送法上は特に問題は見られなかったが、桜を見る会について触れたのはこのシーンのみであった。

・日韓外相会談：結論→特に問題なし

日韓外相会談について膳場キャスターによって「GSOMIA の失効回避後初めてとなる日韓の外相会談が先程行われ、回避の決定の経緯や徴用工問題を巡って意見がかわされました。会談の冒頭、硬い表情で韓国の康京和外相に話しかける茂木外務大臣に対し、康外相からは少し笑みがこぼれました。G20 外相会合に合わせて来日してきた康外相ですが、出席を正式に伝えてきたのは GSOMIA の失効回避の発表をした直後、会談は急遽セットされ 15 分の予定が 35 分間行われました。茂木大臣は韓国側から昨日の決定に至った理由について説明を受けた他、日韓関係悪化の根底にある徴用工問題についても国際法違反の状態を早期に是正するよう強く求めました。また、会談では来月下旬に中国で開かれる日中韓サミットについて安倍総理とムンジェイン大統領との首脳会談を調整することで一致、年内に徴用工問題の解決に向けて進展が図れるかどうか焦点となります。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は 74 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港の選挙：結論→やや問題あり

宇内梨キャスターの「香港で明日、区議会議員選挙が行われます、多くの選挙区で民主派の新人が親中派議員に挑む構図となる中、政治とは程遠い生活から立候補を決意した民主派の若者を取材しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

梁凱晴（民主派候補）「香港政府への態度を示す重大な機会です。投票に行って公民の責任を果たしてください。」  
ナレ「区議選に初めて立候補した民主派の梁凱晴さん、会計事務所に勤務していて政治とは無縁の生活を送っていました。梁さんは 6 月、逃亡犯条例の改正案に反対するデモに初めて参加。このままでは香港の権利や自由を奪われるとの危機感が芽生えたのです、しかしデモを続けても政府は市民の要求を受け入れません、失望した梁さんが行き着いたのは政治家になることでした。」

梁凱晴（民主派候補）「政府は私達の要求に応えません。だからデモ行進とは別の方法で市民の意識を喚起しようと思いました。」

ナレ「梁さんの対立候補は 3 期 12 年に渡り現職の親中派議員、親中派が多い選挙区での立候補となり、選挙運動中には暴行や嫌がらせも受けました。」

梁凱晴「私はこの地域に新しい風を吹かせたい。区民に自分たちには選択肢があると伝えるためです。」

ナレ「民主派への風が吹く今回の選挙。梁さんは親中派が多数を占める区議会を変えるチャンスだと話します。」

VTR を受けて宇内キャスターの「では、現地で取材を続けている森岡記者に伺います森岡さんお願いいたします。」というコメントに対し中継の森岡記者が「はい、デモなど民主派の活動が大きく取り上げられていますが、

現場で取材していると親中派の候補を支持する市民の姿を度々見かけ、香港市民は一枚岩ではないと感じます、区議会議員は信号機やガードレールを設置してほしいという地域の要望を政府に伝えるのが主な仕事で、選挙区も細かくわかれています、いわば顔見知りの中から代表を選ぶという側面があり、実績がある親中派の現職のほうが有利とも言えます、いずれにせよ今回の選挙は一連の抗議活動への市民の支持の度合いを測る指標となるため、抗議活動の行方を左右するものと、選挙結果が抗議活動の行方を左右すると見られます。以上、中継でした。」と応えていた。

このトピックに当てられた時間は 190 秒だった。この問題は特集でも取り上げて入るものの、VTR では民主派の候補しか取り上げられておらず、やや偏ったものであり放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」という点ではやや不十分なものだった。

・両陛下が伊勢神宮参拝：結論→特に問題なし

宇内キャスターの「天皇皇后両陛下は三重県の伊勢神宮の内宮を参拝し、親謁の儀を終えられました。午前9時半ごろ黄櫨染御袍と呼ばれる装束姿の陛下は伊勢神宮内宮の参道を馬車に乗って進まれました。馬車から降りると皇室の祖先神とされる天照大御神を祀る昇殿で玉串を捧げ拝礼し即位礼や大嘗祭を終えたことを報告されました。十二単姿の皇后様は馬のアレルギーが有るため御料車に乗って参拝に臨まれましたが、昨日とは違い今日は晴天に恵まれたため、即位パレードのオープンカーを使われました。」とのコメントおよび訪れた人の「今日はたまたまお休みだったので、ぜひともと思って朝から気合を入れてきました。」や「やっぱり肉眼で見たほうが、すごくきれいで、あの、感動してちょっと体が震えました。」というコメントが取り上げられていたほか、「三重県によりますと、三日間で伊勢市の沿道などに 41,000 人が集まったということです両陛下は電車に乗ってからも沿線の人たちに手を振り続けていました。まもなく東京に到着されます。」とのことがナレーションによって伝えられた。このトピックに当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ローマ教皇来日へ：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「さて、ローマ法王フランシスコが法王として 36 年ぶりに来日しました。異色と呼ばれる法王は何を訴えるのでしょうか。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「六年前、南米出身として初めてローマ・カトリック世界 13 億人のトップ第 266 代の法王に選ばれたフランシスコ。」

ローマ法王フランシスコ「教会は常に扉を開くべきです。なぜならこれは協会のあり方のシンボルですから。」

ナレ「現地でもある世界最小の国バチカン市国でも週一回の一般謁見には多くの人が集まります。」

一般謁見の参加者 A「法王は私達にとって父親のような存在です。」

ナレ「皇居よりも狭い領土には観光地としても名高いサン・ピエトロ大聖堂やミケランジェロの壁画最後の審判などがあるシステリーナ礼拝堂も。しかし法王が暮らし執務を行うのは歴代が住んだ豪華な宮殿ではなく簡素なアパートの一室です。さらに。」

大八木友之（報告）「こちらはバチカンに食料品を納めている特別な農場なんです、こちらの鶏の卵、もしかするとローマ法王が食べているかもしれません。」

ナレ「農産物は法王が利用する食堂でも使われていますが異例なことに法王自身が持続可能な有機栽培の推進を重要文書で提起したのです。」

"アントレア・タンブレリ法王邸宅館長「全てエコロジーです。農場内部の原料しか使わず、例えば肥料箱 k の動物の堆肥を使っています。」

ナレ「若い頃に日本での布教活動を熱望した異色の法王が訪日のテーマに掲げているのがすべての命を守るため、特に力を入れる核廃絶にむけ、明日、長崎、広島を相次いで訪問する予定です。」

フランシスコ法王「日本に行くのを楽しみにしています。神の御加護を。」 "

VTR を受けてスタジオと中継の間で以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

膳場貴子「ローマ法王の来日に合わせて警察当局は警察官およそ 1 万人を動員し、訪問先や移動ルートの警備を強化しています。」

"安倍純（報告）「ローマ法王が宿泊する大使館周辺では道路にバリケードが設置されていまして警察官が不審車両などへの警戒にあたっています。」

ナレ「東京千代田区の駐日ローマ法王庁大使館周辺では車を使ったテロへの対策が行われるなど警備態勢が強化されていますローマ法王が日本に滞在する 26 日までの間、警視庁と広島県警、長崎県警などの警察官およそ 1 万人体制で法王の訪問先などで警備に当たることにして違法ドローンを捕獲する部隊を配置します。警視庁幹部は歓迎ムードを壊すことなく警備をしたいとしています、25 日に東京ドームで行われる大規模なミサの際にはテロに備えた緊急時初動対応部隊 ERT を周辺に待機させ、警備に当たることにしています。」 "

膳場貴子「ええ、さてローマ法王フランシスコが先程羽田空港に到着しました中継映像見えるでしょうか、中継に切り替わるでしょうか。ええ、チャーター機で到着したローマ教皇フランシスコは雨の中カトリック教徒である麻生副総理らに出迎えられています。このあと、空港内で歓迎式が行われる予定です、核廃絶への強い思いを持つ法王フランシスコは明日、被爆地の長崎広島を歴訪し大規模なミサを行います。」

このトピックに当てられた時間は 247 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

#### ・【特集】問題山積～大学入試共通テスト：

膳場キャスターの「特集は、来年度から始まる大学入試共通テストです。英語の民間試験導入は、延期となりましたが、国語と数学の記述式試験に批判が高まっています。」というコメントに対する金平キャスターの「教育現場からは早く中止を決めてほしいという声も挙がっています。」とのコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「延期が決まった大学入試の英語の民間試験導入を巡り、今週、元文部科学大臣の発言に注目が集まった。」  
下村氏(去年 4 月 13 日)「やらないといった東大はそもそも、これやっぱり問題だと思いますよ。つまりね、文科省よく指導していただきたい」

ナレ「私たちが入手した下村博文元文部科学大臣の音声。去年、4 月 13 日に開かれた自民党の教育再生実行本部での発言だ。会合は非公開で、国立大学協会の担当者らが出席してのヒアリングが行われていた。」

ナレ「このおよそ 1 か月前、東京大学の副学長は会見で、」

東京大学 福田裕穂副学長「現時点で、あの、業者テストを入学の試験として、用いることは、あまり正しくないだろうと。ちょっと拙速だろうというふうに考えています。ですので・・・」

ナレ「英語民間試験に導入に否定的な考えを表明していた。一方、五神まこと総長は・・・東大ホームページの総長メッセージ集の中でこう述べていた。」

メッセージ「世界が急展開する中で、学生の英語力の 4 技能を鍛えることは最重要だ。4 技能についての民間試験を応募の必須にすることは有効だと考えている。」

ナレ「東大の中でも意見が割れていると考えた下村氏は、大神総長の姿勢にも言及し、会合でこう述べた。」

下村氏（録音テープ）「ですから、五神さん自身がやる気持ちはあるみたいですよ。しかし東大全体として、本当にやるのかやらないのかというと、新聞の記事のように『やらない』と。だったらそのきちんともう一回記者会

見をして、東大は先頭に立ってやるということをまず言っていただきたい。それから五神さんだけにね、責任を転嫁させるのはかわいそうだと思います。そのためのバックアップ体制ですね、いろいろな部分で、これはあの、国の方、文部科学省もしっかりと学長に対してやるということをサポートしてあげないとですね、記者会見やらないと思いますよ。実際のところは」

下村氏（録音データ）「やるということは、やっていること前提にですね、ぜひ指導していただきたいというのが、一点ございます。」

ナレ「その後、東京大学は、英語民間試験の具体的な活用方策を検討すると発表した。5月に、行われた自民党の教育再生実行本部の会合では、主査を務める遠藤利明氏はこう述べた。」

遠藤利明主査（去年5月16日）（録音データ）「東京大学でも、あのホームページで、民間試験を導入するというようなことを正式に表明をしていただいて、ようやく一歩前進かなと思っております。」

ナレ「憲法は学問の自由を保障し、教育基本法は、大学の自主性、自立性の尊重を定めている。下村氏の発言は大学側への圧力では、ないか。と教育関係者や、野党などから批判の声が挙がったが、今週水曜日、下村氏は、」  
下村元文科相「最終的には、各大学が判断することでは当然ありますけれど、もっと文部科学省がちゃんと説明をする必要があるのではないかということで、申し上げたことです。文科省が、特に動いたということでもない。それから、東京大学側も、文科省や、政治家からそういう働きかけがあったということではなかったということですから、別に結果としてですね、政治的な圧力というには、まったく当てはまらないと思いますし、それぞれが、それぞれの議員の立場で意見を言うということさえですね、それ自体が、学問の自由、あるいは大学の自治に抵触するといううんぬんといわれたらですね、議論も出来なくなるんじゃないかなと思います。」

ナレ「東京大学は取材に対して、文科省や自民党からの働きかけや指導は無かったと回答している。文部科学省はどうなのか。」

ナレ「英語民間試験の導入をめぐる下村氏の発言について、昨日、萩生田文部科学大臣に聞いた。」

金平「文科省はですね、東大に対して何か、この件に関して、コンタクト、照会・あるいは働きかけをしたというような事実はご確認なさっているのでしょうか？」

萩生田大臣「文部科学省では、東京大学のみならず全ての大学に対して、ご指摘の自民党の会議より前から、大学入学者選抜実施要項により、英語4技能を測ることのできる資格、検定試験等の、結果の活用を促してきたところであります。その意味でも、下村議員の発言が文部科学省に圧力をかけたものとは受け止めておりませんし、また当時の担当者に確認したところ、昨年4月13日の、自民党の会議に出席をしてはしましたが、その後、個別に東京大学に働きかけたことは無いということでございます。」

金平「個別には？」

萩生田大臣「個別というか、東京大学に文科省がこの件で働きかけをしたことは無いということです。」

ナレ「大学入学共通テストに、ついては、英語だけでなく、別の教科でも、懸念する声が挙がっている。」

ナレ「東京都、杉並区にある佼成学園高校。私立の中高一貫の進学校だ。英語の授業では、生徒に1人1台導入されたタブレット端末を、スピーキングや、リスニングのテストに活用するなど、読む、書く、聞く、話すの4技能の育成に積極的に取り組んでいる。」

日下部「私たちの時のね、英語の授業とは全く違います。すごいねなんかスピーディーで、実践的ですね、なんか。」

ナレ「今月、1日に決まった英語民間試験の導入延期。来年この試験を受けるはずだった高校2年の生徒は、この決定を、どう思っているのか。」

日下部「導入される予定だったね、民間試験。えーこれの導入が、延期されましたけれども、みなさんずつと

準備してきましたか？してきた、もう一生懸命準備してきたっていう人、ちょっと手を挙げてください。」

生徒（手を挙げる）

日下部「おおー。半分くらい。」

「日下部「あーこれ延期になってよかったと思う人手を挙げてください」

生徒（手を挙げる）

日下部「いやーこれほとんどだね。」

ナレ「大学入試を1年後に控えた中での、試験内容の変更に生徒たちは・・・」

生徒「こう英語がこうやってどんどんどんどん変わっていってしまうと、やっぱり、英語に割かなきゃいけない時間が今まで以上に増えると思うので、やはり時間の扱い方もかなりシビアになってきている部分はあると思います。」

ナレ「英語民間試験の実施は延期されたが、生徒たちは今、別の教科に懸念を抱いている。」

生徒「国語が一番やめてほしいなって言うのはありますね。はい。」

生徒「自分も国語がやっぱり無くしてほしいと思います。」

ナレ「大学入学共通テストでは、国語と数学で、従来のマークシート式に加え、記述式問題が、各3問出題される。思考力や表現力を、測るのが狙いだ。国語の記述式では、回答が正答の条件をどれだけ満たしているかで、採点し、AからEの5段階で評価する。採点はベネッセの関連会社が行うことになっている。共通テストは、50万人以上が受験するとされ、採点を20日間程度で行う必要がある。採点者は1万人規模で、学生アルバイトも含まれる予定だ。」

「入試改革を考える会」予備校講師 吉田弘幸氏「大学の先生ではない人が、採点するてのが、一番深刻な問題だと思います。」

ナレ「こう話すのは、記述式試験に反対する入試改革を考える会のメンバーで、予備校講師を務める吉田弘幸氏だ。」

吉田氏「個別試験では、あのこういう記述とか、論述の問題がいっぱい出るわけですけども、その場合は採点者が全員集まって、で、あの相談しながら、で、例えばこの例として示したものの以外にも妥当なのかどうかを採点基準なり、解答例を更新しながら採点していくわけですね。で、たぶんそういう作業は一切できないと思いますよね。」

ナレ「去年、行われたプレテストを使って解説してもらった。」

テスト記述（吹替）「ことばの全く通じない国に行って、相手に何かを頼んだり、尋ねたりする状況を考えてみよう。この時には、指さしが魔法のような力を発揮するはずだ。」

ナレ「指さしが魔法のような力を発揮するとは、どういうことかを、30字以内で記述する問題だ。採点者がみる正答の条件は、言葉を用いない、または指差しによるということがかかっていること。コミュニケーションが取れる。または、相手に注意を向けさせるということが書かれていること。解答例も3つ示されている。」

解答例「ことばを用いなくても意志が伝達できること。指差しによって相手に頼んだり尋ねたりできること。ことばを用いなくても相手に注意を向けさせることができること。」

吉田氏「もちろんこれに限られるわけじゃなく、他にも無数の可能性がある。採点の仕方としてはこういうポイントをチェックしろというポイントがいくつかあるわけですけども、非専門家がこの条件に当てはまっているのかどうかっていうのを、適切に判断できるかどうか、非常に心配ですね。ここからずれているものは、不正解という方向にかえってこうバイアスがかかるようなおそれもある気がします。」

ナレ「先週、高校生グループが指差しによって言葉が通じるということについて中高生と教師らに

それぞれ採点してもらったという。その結果、正答の条件を満たしているかどうか、中高生と教師らの採点で、倍近くの差が出た。」

ナレ「今週、火曜日、別の高校生グループが、文部科学省を訪れ、来年度の記述式試験の中止を求める要望書を提出した。文科省は国語の記述式について、国公立大学に対し、二次試験に進む受験生を絞り込む2段階選抜の判断材料としないよう、要請することを検討している。今週、水曜日の国会では、」

吉川元（社民党衆院議員）「2段階選抜に使えないものが、あるいは、そういったものが合否判定に使われるっていうのは、とてもじゃないけど、おすすめでできない中身だというように大臣考えられませんか。」

萩生田文科大臣「受験者に自信を持ってすすめられるよう、引き続き記述式問題の出題や、採点方法について、どのような改善が可能であるかささまざまな方策について、検討してまいりたいと思います。」

ナレ「しかし、校成学園高校の生徒たちは、不安を口にしている。」

生徒「今までのセンターだったら、選択肢だったので、丸つけとかが、自分でもやりやすかったんですけど、記述ってすごい曖昧で、学生のアルバイトとかが、自分のその将来がかかった共通テストを採点するってなったら、ちょっともしその自分が思ってたのと違う点数だった時に納得できるかっていったら、納得できないし。」

日下部「どう？そういう大人たちの決め方については、なんかありますか？」

生徒「将来を背負っていく僕たちの世代の声を聞いてもらえないっていうことは、将来にも本当にダメージにつながると思うので、大人の人たちには、ぜひ聞いてほしいなというふうに思います。」

ナレ「国語教師もこう話す。」

校成学園高校国語科 内野賢一教諭「結局、今できるだけ早く、そういう手当をしても、本当は行われなかったということになると、やり損になってしまいますから、なかなか態度が決めかねている。できるだけ早くやらないことを決めていただいて、生徒たちが落ち着いて、受験勉強に取り組めるようにしてもらいたいというのが、僕の意見です。」

ナレ「採点に関わる業者を巡り、新たな問題も明らかになった。これはベネッセが2017年に、高校関係者向けの会合で、配布した資料だ。ベネッセは採点基準を助言する業務を受諾していたが、資料では、そのことを記載したうえで、自社の模試について、”入試改革に対応”などと謳っていた。」

城井崇（国民民主党衆院議員）「業務を受託する事実を利用して、取引を誘因することにより、本業務の中立性、および、信頼性を損なっております。大臣。」

萩生田「学校現場に対してこのような資料を配布することは、記述式問題の採点業務の中立性・および信頼性に疑念を招くものであり、厳重に抗議し、是正を促していきたいと考えております。」

ナレ「ベネッセは、取引を誘因するなどの意図は一切ございませんでした。とコメントした。批判が高まる記述式試験について、萩生田大臣はどう考えているのか。」

金平「現場からはですね、かなりその、切迫した声ですね、いつ一体決まるんだという切迫した声が挙がっているんですけども、これはあの問題解決できなければですね、場合によっては、延期するというようなオプションもお考えなんですか？」

萩生田大臣「えー現時点では、予定通り準備させていただきたいと思っています。ただ、さまざまな今までのプレテストの結果を見てもですね、改善をしなくてはならない項目がありますので、まあこれらについて作業を今続けているところです。」

ナレ「大学入学共通テストの導入は、なぜここまで混乱したのか？」

膳場「失礼しまーす。よろしくお願ひします。こんにちは。」

ナレ「全国、高等学校長協会で会長を務めていた。宮本久也氏。2016年、文部科学省に設置された共通テス

ト検討準備グループの委員を務めた。」

膳場「文科省での議論を振り返って、何が一番問題だったなと思えますか？」

宮本氏「はい。ここで物事を決めるってことではなくて、その事務局が提案をしてきた内容に対して、委員がそれぞれの専門の立場から意見を述べるというのが、この会議の性格だったものですから、英語については、格差の問題とか、さまざまな課題のことなんかは指摘をしたわけですし、まあその課題の指摘については、みなさん共有はできたわけですけども、じゃあその課題に対して具体的にどう対応するのかっていうその具体策までの議論がやっぱ十分ではなかった。」

膳場「50万人分のこの記述をどう採点するのか、誰が採点するのかってのは、」

宮本氏「民間の方々はどう採点をするのかということろまでは、これはやはりそこまでの議論はやっぱしていないですね。はい。」

ナレ「宮本氏は、当時の議論が、不十分であったと認めたくえで、こう話す。」

宮本氏「選抜ってというのは、一番大きいのは、その受ける側と、選抜する側の信頼関係だと思うんですよ。まあ一生懸命頑張ったんだけど、まあしょうがないっていうか、届かなかったって言う風に、ある意味そのかなわなかった人が納得できるっていうか、そういう選抜にならないと、そもそもおかしいと思うんですよ。」

VTRを受けて以下に朱記したやりとりが繰り返された。

膳場「はい。あのこの宮本さんが、校長先生を務めている都立高校で、あの、生徒たちが夕方遅くまで自習している様子を見させてもらったんですけども、受験を控えて本当に多くの生徒たちが、真剣に勉強をしているんですよ。で、見学しているだけで、張り詰めた緊張感で、こちらが、ひりひりするような感覚になりました。えー受験生っていうのは、人生をかけて真剣勝負に臨むわけですから、採点する側にも、それにこたえる覚悟と、責任感が無いと、入試の信頼性自体が、保てないと感じました。で、記述式の採点方法今、揺らいでますけど、これ揺らいだまま、新しい試験を実施するとしたら、受験生に対し、これほど不誠実なことはないなと思いますね。」

金平「そうですね、一方でね、大学入試共通テストっていうのは、120億円とも言われる巨大市場を作り出すっていうのが、生々しい現実があるんですね。だから受験産業ってのが動き出す理由ってのも、そこにあるんですけども、その際置き去りにされるのが、当事者である受験生っていうのであれば、本末転倒で、一体何のための共通テストってことになっちゃうんですが、萩生田大臣っていうのは、現時点では予定通り準備させていただきたいって言ってましたけれども、これだけ問題点が指摘されたわけですから、早く結論を出すべきだと思いますね。」

この特集に当てられた時間は1274秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】 混迷の香港～デモと選挙の行方は：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「さて、続いての特集は明日地方選挙が行われる香港です。日下部さん。」とのコメントを受けて中継の日下部キャスターが「はい、道路を挟んで向こうの茶色い建物、激しい衝突があったですね、香港理工大学です。まだ数十人の若者が中に残っているという情報もあります。こう見ても激しい衝突の跡が伺えます、入り口、大きく壊れています。大学を結ぶ陸橋の屋根も、こう焼け落ちているんですね。そして何よりもこの大通り、私が立っている九龍半島と香港島を結ぶ海底トンネルに繋がる道路なんですけれども、この香港の大動脈が一週間に渡って通行止めとなっています。香港の若者たちはなぜ圧倒的な力の差にも関わらず、警察に立ち向かっていったんでしょうか、そして明日行われる地方選挙では一体何が問われているんでしょうか。」と応えた後に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"ナレ「今週、日曜、中心部にある香港理工大学の前では学生たちと警察が対峙していた、」



日下部正樹（報告）「みんなこう晴れててもレインコートみたいなのをきているのは、こう放水車ね、警察の放水車、特に青い水は非常に肌がただれるような痛みを伴うですね、水が放水されるということで、こうやってデモ隊の皆は雨合羽みたいなのを身に着けています。」

ナレ「デモのきっかけとなった逃亡犯条例の改正案は既に撤回されている。それでもなぜ、対立の溝は深まっているのか。」

日下部正樹「みなさんは一体何を守ろうとしているのですか。」

デモ参加者 A「香港の民主主義です。」

デモ参加者 B「警察のやり方は香港の最も大事な価値観である法の支配を守っていません。」

ナレ「話を聞いていると突然」 "

"日下部正樹「きましたねえ。いま、放水が始まりました。」

ナレ「放水と同時に催涙弾も発射された。私達も学生が占拠している大学構内に入った。まず目に飛び込んできたのは、」

日下部正樹「ええ、このあたりはみんな、火炎瓶、全部火炎瓶だね、これ。」

ナレ「学生たちが火炎瓶をつくっていた。」

日下部正樹「もうこの、通路一带にガソリンというのかな、可燃物のおいが充満しています。」

ナレ「大学には自治権があるため警察の捜査が及ばず、抗議活動の拠点となってきた。建物の中は天井が剥がれ、ところどころ水漏れしている。」

日下部「ええ。校内、中にも催涙ガスの煙が充満しているのでしょうか、かなり目がしょぼしょぼしますね。」

ナレ「屋上に出ると。警察車両へ向けた投石、三人がかりで何度も繰り返す。一方、警察はデモ隊に向かって放水を始めた。大学に出入りできる通路にはバリケードが築かれ荷物検査が行われていた、デモ隊に扮した警察の侵入を防ぐためだ。キャンパスの外に出てみると、」 "

"日下部正樹「ええ、ここはですね、大学周辺の片道 5 車線の非常に大きな道なんですけれども、こうやってブロックによる障害物が至るところにおいてあってですね、完全に車が通れない状況になっています。」

ナレ「積まれたブロックは政府調査の形もしているという。その日の夜には。」

日下部正樹「ええ、今、火が放たれましたね、火炎瓶でしょうか。ここも、ああ、すごい、非常にもう水平撃ちですね、非常に深い弾道の催涙弾がどんどん打ち込まれています、直撃したら本当に大怪我するような水平撃ちによって催涙弾がデモ隊に向けて打ち込まれています、あたり、正面が真っ白で見えないくらいですね催涙弾が今打ち込まれているところです。」

ナレ「使用されているのは硬いゴム弾と催涙弾、催涙弾は中国製で市民から危険だと恐れられている、今月に入って厳しさを増す警察の取り締まり。その背景に何があるのか。」 "

ナレ「香港警察が強硬姿勢を取り始めたきっかけ、今月 4 日のトップ会談にあったと見られる。中国の習近平国家主席が香港の林鄭月娥長官に対し、秩序の回復が香港の最重要任務と事態の収束を求めた。その一週間後、警察官が丸腰の大学生に向かって、実弾を発砲し、大学生は重傷となった、その費、大学庫内への催涙弾の発射が始まったのだ。香港理工大学はデモ隊が立てこもる拠点となり、警察がそれを包囲した。今週月曜、香港理工大学の周辺では構内に残る学生を助けようと抗議活動が行われていた。」

日下部正樹「ええ、あちらが香港理工大学ですけども、周辺をですね、警察が包囲したということなんですけれども、その包囲網の外側にこうやってまた、デモ隊がですね、バリケードを作る、という状態になっていますね。」

"ナレ「警察はデモ隊に対し。」

警察「ここにいると暴動罪になる。。離れろ、撃つぞ。」

日下部正樹「かなり遠くから撃っているの、どこに飛んでくるかよく見えない。」

ナレ「デモ隊が火炎瓶を投げ、バリケードに火をつけた。すると。デモ隊にも容赦なく水を放つ、その威力で傘が吹き飛んだ、次の瞬間、」

日下部正樹「もう完全にメディアもなにも関係ないですね、メディアも含めてですね、もうとにかく警察のですね、放水、催涙弾をデモ隊だけではなくて、我々メディアもお構いなしにですね、狙いをつけて攻撃してきています。」 "

"デモ隊「復讐、香港人」

ナレ「デモの現場では明確な役割分担がある。」

日下部正樹「ずーっと続いているよね、もう道路の一番先までこういった人の列がいて、デモの先頭に物資をことう手渡しで渡している。今、医療班、医療班が必要だということで、医療班を呼べという、今、指示がですね、デモ隊の先頭の方からあったようです。」

ナレ「必要なものは最前線から口頭で伝えるシステムだ。それに応じて、デモ隊の医療班が走る。」

日下部正樹「こういった方法を生み出してしまふ、システムにしてしまふというところがどれだけ長くこうした抗議活動がここ香港で行われている、それを表していると思います。」

デモ隊「学生を救え、理工大を救え。」

ナレ「警察に包囲された香港理工大学にいる学生、彼らを助けようとする動きは様々な場所に広がっていた。」 "

"日下部正樹「ええ、オフィスビルが立ち並ぶですね、セントラルに来ています、今、ちょうど1路を過ぎたところですけども、このあたりで働くビジネスマンですとかOLの人たちがですね、昼休みを利用して抗議デモを開いています。」

ナレ「セントラルは金融街の中心地。昼休みが終わってもオフィスに戻る気配のない人たちに対し。」 "

"警察「社会の発展に貢献する市民の皆さん、お勤めご苦労さまです。警告します、ここは車道です、歩道に戻ってください。」

ナレ「夕方になると、繁華街でも。」

日下部正樹「ええ、私が立っているのはですね九龍半島を南北に貫くネイザンロードなんですけれども、その交差点も含めてすべての道が封鎖されています、こういった置き石によってですね、車が全く通れない状態です。」

ナレ「そして、夜。」

日下部正樹「どんどん、こうデモ隊が逃げていきます。」

ナレ「警察に追われたデモ隊が街中を走っている、その背後から催涙弾が打ち込まれる、デモ隊の一部はホテルの中へと逃げこんだ。」

日下部正樹「とにかくね、警察の方、見境もなく催涙弾を撃ってくるので、我々も非難する場所は殆どない、ただこうやってホテルにデモ隊が逃げ込んでもホテルの人はそれを止めるわけではありません。」

ナレ「ロビーには煙を吸い込んで、苦しむ人が。ホテルの従業員もガスマスクを付けている。デモ隊がゴミ箱や傘を盾にして大学の方向へ前進する。そのデモ隊に向かって警察が放水をすると。」 "

"日下部正樹「放水車に向けて火炎瓶が投げ込まれました。ええ、盛んにですね、デモ隊からこうやって火炎瓶が投げ込まれています、われわれの足下にまでこうやって火炎瓶が投げ込まれている状況です。再びデモ隊が前に前にきます。とにかくこう警官隊とデモ隊の押し引きというかですね、それがずっと繰り返されています、」

ナレ「炎の中を進むデモ隊、だが次の瞬間。警察の圧倒的な力の前に、デモ隊が大学まで辿り着くことはなかつ

た。」

日下部正樹「何が若者たちを動かしているのか、第三者の私にはわからない、ただ彼らのこういった行動をですね、単に暴徒化した若者たちと表現するのは非常にこう躊躇してしまいます。」

ナレ「香港理工大学では一昨日までに千人以上が暴動罪などで逮捕された。混乱が拡大する中で香港市民が懸念していることがある。」

"日下部正樹「人民解放軍が自発的に清掃活動を行った現場です。道路にはバリケードに使われたレンガですとか、あるいは道路の鉄柵が片付けられています。」

ナレ「隊列を組んでやってきたのは香港に駐留する中国共産党の人民解放軍だ。今月 16 日、デモ隊が残した瓦礫の撤去作業に加わった。香港には一万人規模の部隊がいると見られ、法律上、出動は香港政府の要請を前提としている、だが、今回、自発的に出てきたのだ。」

日下部正樹「この新聞、親中派の新聞なんですけれども見出しにはですね、人民解放軍が障害を掃除してくれて香港を鼓舞したとこういった見出しになっているんです、一方で民主派の新聞が同じ活動をどう伝えたかということですね、解放軍が駐留するための法律に違反したと、非常に批判的に伝えています。」

"香港市民 A「私達が彼らを称賛したという事実はありません」

香港市民 B「今回は自発的に清掃作業を行いました、次は集まってくる人たちを排除するかもしれない、それでいいのでしょうか。」

日下部正樹「ええ、こちらが香港にいくつかある人民解放軍の施設の一つです。もし、仮に今回のですね、行動が、今後あらゆる局面で彼らが自発的につまり自らの判断で表に出ることの第一歩だとすれば、今回の出来事、決して小さな出来事ではありません。」

ナレ「そして、今後の香港情勢に大きな影響を及ぼすとされるのが明日行われる区議会選挙だ。4年に一度行われ 18 ある区議会の 452 議席を巡って争われる、区議会とは言っても立法権はなく、行政サービスについて政府に助言する諮問機関に位置づけられる、それでも香港に直接民意が示される重要な機会だ。候補者はデモを支持する民主派と中国と距離が近い親中派に大別される。」

"李思敏候補（親中派、30 歳）「前にも渡しましたが、私の事宣伝してくださいね。」

ナレ「親中派とされる李思敏さん、元カンフーの講師で香港の下町にあたる地区から立候補した。」

李候補「マニフェストを配りに来ました、読んでください。支持をお願いします。」

市民「はい、わかりました、支持しますよ。」

日下部正樹「このあたりは本当に香港の下町ということで日本式に言えば、非常にドブ板選挙、一軒一軒の店を回ったり、通行人一人ひとりに声をかけたりする選挙活動を展開しています。皆さん知り合いなんですか。昔からの」

李候補「毎日のようにこのあたりを回ってニーズを確認しています。嫌われるまで歩き回りますよ。」

飲食店の店員「ネイザンロードをバスが通れず、お客さんは遠くから歩かないといけません。影響は小さくありません、こんな大事になるなんて。」

ナレ「李さんはデモに一定の理解を示す一方で、こう釘をさす。」

李候補「自由と民主主義は正しいものですが方法や行動が人に与える影響は考慮しなければいけません、暴力行為は歩行者の安全に影響します。公共の安全を脅かすなら受け入れられません。」

"ナレ「日本人の母親を持つ日本語講師の陳天俊さん、国籍は日本だが、香港の市民権もあり、民主派から立候補している、高層マンションが多いニュータウンが選挙区でビラを配ってアピールする。」

陳天俊（民主派候補）「もっと政府はバーケできる、ディベートできる相手だと信じていましたが、今は完全に信

じることはできません。」

ナレ「陳さんは大学生だった 5 年前、民主化を求める雨笠運動に参加、その後、政治活動を始めたという。」

陳天俊「雨笠革命に参加して、そのときにはびっくりしましたね、香港は三権分立、司法、立法とかバランスが良くて、人民を守っていると考えてたんですけども、その時初めてぶつかったこと、体験したことはそんなルールは中国政府から観るとすぐに壊れやすいものだとかわかって。」

ナレ「今年 6 月以降、デモにも参加していた。」

陳候補「今一番問われるのは私達の希望する香港は何か、一国二制度だけですか、それでも制度や方針を守るもっといいシステムを作るかどうか。」 "

"ナレ「日本の国会に当たる立法会の民主派議員、朱凱迪さん。兼職が可能のため、今回の区議会選挙にも立候補している。」

朱凱迪「全世界にとっても意義があります。中国共産党が結果を受け入れるかどうかです。」

ナレ「朱さんは今回の区議選が中国共産党にとって初めて結果の予測できない選挙、民意と向き合う選挙になると考えている。」

朱さん「今回の選挙と来年の立法会議員選挙は彼らにとって試金石です、もし中国共産党がこのねじれた一国二制度の中で香港人を受け入れたいなら、彼らが負けたとしてもその現実を受け入れるでしょう。その結果、行政長官は比較的中立な人になるでしょう。共産党が民意に応えたとしてもメンツは潰れません、今回の選挙は双方に問題を解決する機会を与えています。」 "

"ナレ「区議選は民意が反映されれば、民主派が勝利する可能性が高いと言われている、その場合、中国政府と香港政府はどう動くのか、立教大学の倉田徹教授はこう分析する。」

倉田徹（立教大学教授）「より強行化する可能性のほうが高いと思っています。まあ民主派の関係者に対してこのデモに絡んで様々な罪状で捜査や逮捕と言ったことを行う可能性もあるでしょうね、さらに様々な形で選挙制度そのものを変えてしまうというようなこともありうる、」

日下部正樹「非常に重要な選挙になるわけですね。」

倉田教授「そうですね、これはもう香港の民主化の最後の砦ですね、もしその区議会の選挙、あるいはその先の立法会の選挙といったような選挙制度というものが機能しなくなると、今の香港の政治体制そのものが民意を取り込んで政治を安定させるという形が全く機能しなくなってしまう。」 "

VTR を受けてスタジオと中継の間で以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

"膳場貴子「再び、香港の日下部さんです。日下部さん、大学での衝突がここまで激しくなったのはなぜなのでしょう。」

日下部正樹「はい、VTR の頭にもあった、VTR の中にもあったようにですね、今月初めに中国と香港のトップ会談があってから取り締まりの質が変わったと思いますね、あの、学園の自治を無視してキャンパスに警察部隊が入り込む、もともと抗議活動というのは拠点を持たないで市内各所でゲリラ的に行われてきたんですけども、大学を守るために若者が集ってきて拠点化する。逆に言うのですね逃げ場を失ったわけです。そこで激しい衝突が起きてしまったと、たしかに若者の暴力には目に余るものがあります、でもここで忘れてはいけないのは一連の混乱の原因をつくったのは誰なんだ、このことだと思います。」 "

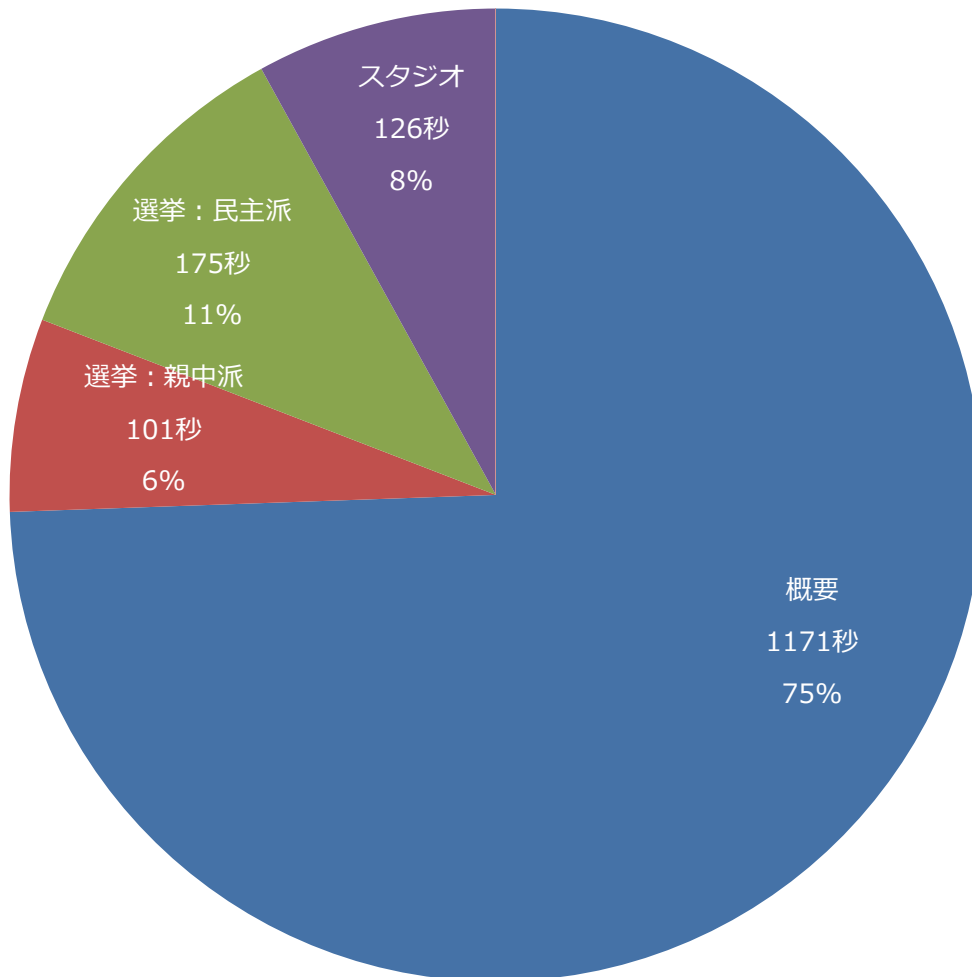
"金平茂紀「日下部さんね、それにしてもなんか見ているともはや内戦のような様相ですね、区議会選挙というのは香港の民主化の最後の砦になるのでしょうか。」

日下部正樹「あの、ここに来てですね中国政府はたとえ親中派が敗れてでもですね、選挙をやろうという方向にかじを切ったようですね、つまり選挙をやらなくて起きる混乱、リスク、これを避けたいという思惑があるよう

です、ですからよほどのことがない限りは明日の選挙は投票は行われると思います。この区議会というのは非常に小さな勢力、影響力しか持たないのですけれども、香港の人たちはこれをチャンスにですね、自らの考え、意思を内外に示したい、こういった思いで選挙に臨もうとしています言われているようにですね、民主派が勝った場合、中国は様々な手を使って香港に介入してくると思います、そういった意味でも我々国際社会が選挙の行方をきちっと見通すこと、これが非常に重要だと思います。」 "

ナレ「日下部キャスターでした。」

この特集に当てられた時間は 1575 秒で、概要を伝えた場面、親中派の選挙運動を取り上げた場面、民主派の選挙運動を取り上げた場面、VTR を受けてスタジオと中継とのやり取りに大別された。それぞれの時間配分と比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

・ オープニング

金平キャスターがオープニングで「嘘をついてはいけない、大事なものは捨ててはいけない。当たり前のモラルを為政者たちが率先して破って子どもたちにどう説明するのでしょうか。」と述べていたが嘘を付くこともよくないことであるが、事実を伝えると称して重要な要因をあえて伝えないという取り上げ方をするのも実質的には嘘をついていることとほとんど同様であろう。報道特集は是非、重要な要因を余さず伝え、嘘のない報道に努めていただきたいものと切に期待するところである。

・【特集】 問題山積～大学入試共通テスト：

大学入試共通テストありきで特集が取り上げられていたが、そもそもなぜ、国公立大学の一次試験で共通の問題を用いる必要があるのか、国公立大学も私立大学と同様に個別試験だけで選抜を行う、というやり方は考えられないのだろうか。

・【特集】 混迷の香港～デモと選挙の行方は

香港の情勢が伝えられていたが、それではそうした情勢を受けて日本の国会ではどういった議論がなされているのか、というのは非常に気になるところである。